

令和3年度 放課後等デイサービスくら 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	不明	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				利用定員に合った全体の広さを確保している。目的に応じて部屋を使用したり、園庭では鬼ごっこ等で思い切り走り回ったりすることができている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6				利用者の状況や活動内容に合わせて配置数を工夫している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		2		トイレは車いすでの利用が難しい。必要時に対応できるようカーテンの設置を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				日々、職員間でコミュニケーションを取り、情報共有に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				事業所のHPIにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			2	4	検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			事業所内外の研修に全職員が参加できるようにしている。毎年、書物の提供も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				職員一人一人の意見を取り入れられるよう工夫している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				学習課題、工作、ゲーム、イベントの担当者を決め計画し活動している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1			職員会等で意見を集めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			1	利用時間に応じて、工作活動や園庭あそび、事業所外でのイベント活動等を取り入れ充実した時間を過ごせるよう工夫している。今後も新しい活動を検討する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1			個別に用意した学習課題や工作活動、集団行動のスキルを育てるゲーム活動、公園遊びや買い物学習、夏祭り等を行っている。コロナ禍のため調理活動は自粛している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			書面で申し送り等も行っている。送迎についても全員で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2			毎日、活動記録を作成している。職員個々の気付きを記入できる書面での記録を検討する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				工作、運動、言葉等多方面から刺激を与える事ができるよう支援している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6				利用開始時には学校を訪問し、受け渡し等の確認をしている。利用予約状況を書面で渡し確認してもらったり、学校の行事等の情報を提供していただいたりしている。トラブルが発生した場合の連絡調整も行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					該当児無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		1	相談員さんを通して情報提供を受けている。訪問等による確認も検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					現在は該当児なし。必要時、情報提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6			研修の機会があれば参加するようにしている。事業所に来ていただいて相談、助言をいただく場を作りたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4		コロナ禍のため積極的な交流を控えている。地域の公園遊びでのふれあいは継続している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		1	1	会議案内に応じて参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				懇談、送迎時でのお話や連絡ノートを利用したの共通理解に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5			1	保護者の困り事に対してアドバイスをしている。要望があれば相談支援の場を設けている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			1	運営規程については掲示、契約時には丁寧な説明に努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				必要な時に支援ができるよう日々コミュニケーション努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	4	1	コロナ禍もあり厳しい状況だが、保護者の負担にならない交流会などを行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				苦情対応マニュアル、窓口を設置し、体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				年3回のくじらだより、HPで活動を紹介している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6				情報の管理、守秘義務契約により注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				聞き取りやすさ、見やすさに気を付け伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	1	コロナ禍のため現状では難しい。今後、夏祭りなどのイベントを検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			毎年配布、掲示している。防犯マニュアル、感染症マニュアルについてはさらなる検討をし、整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			火災、地震、不審者に対する訓練を行っている。備蓄品については充実を図っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修の機会を確保し、職員会では指導事例の検討を行っている。マニュアルを作成、委員会の設置を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			虐待防止と合わせて検討している。配慮の必要な利用者については支援計画書にて確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		2	現在は該当児がいない。受け入れがあった時は対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			記入についての声掛け、事例の振り返りを行っている。

